

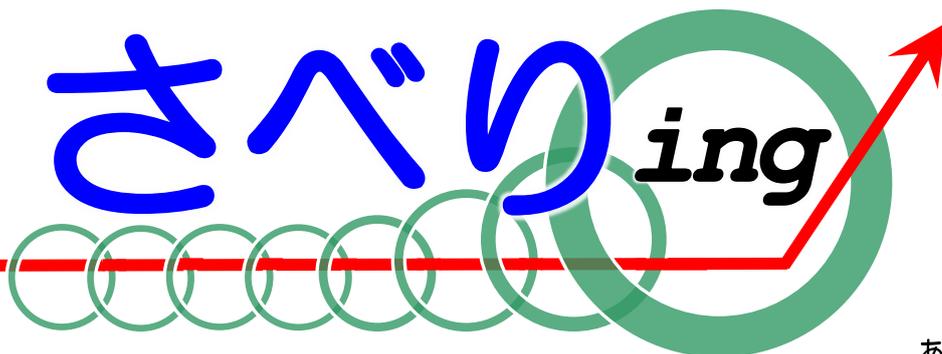


▼人文字で10周年を祝う▼ ～山辺里小学校運動会で記念事業～

10月3日(土)に行われた山辺里小学校の運動会では、創立10周年記念事業として、記念事業実行委員会(伊與部恵一委員長)が企画した児童による人文字「さべり10th」の空撮やバルーンリリースが行われました。空に舞い上がる色とりどりのバルーンに子どもたちの歓声が上がりました。山辺里小学校の思い出として心に強く残ると思います。また、まちづくり協議会かんきょう委員会による50を超えるプラントアが花を添えました。

この後の10周年記念事業としては、10月25日(日)の文化祭当日に山辺里小学校で記念式典とドローン空撮やメッセージなどの映像が上映されます。そして、山辺里小学校5年生が田植えから稲刈り、はさ掛けをした約1俵半の祝米(山辺里小学校創立10周年記念米)が、山辺里小学校児童、山辺里保育園児に贈られます。また、数量限定で、改善センターで配布されます。

旧山辺里小学校と旧門前谷小学校が統合してから10年。新山辺里小学校創立10周年を地域全体でお祝いしたいと思います。



あふれる緑 つながる和 生き活きさべり



山辺里の元気を伝えよう



「山辺里地区の元気を伝えよう！」と調べ学習を進めてきた子どもたち。今回は、山辺里の地域資源を見つめ、10年後の未来を考えることにしました。しかし、課題が大きくて難しいので、考えるヒントを、日頃から地域活性化やまちづくり活動に携わっている、都岐沙羅パートナーズセンターの佐藤香さんから教えていただきました。

6つに分かれたグループワークでは、山辺里地区で撮影された人、自然、風景、催しなどの写真の中から「よい」と思うものを選び、「どうしてその写真をよいと思ったのか」「10年後はどうなっているのか」について意見を出し合い、「将来的にはどんな地域になって欲しいか」について、グループごとに考えをまとめました。グループワークでは、子どもたちからたくさんの意見が出されました。今月号では、2つのグループの考えを紹介します。



【Aグループ】

末羽、風芽、響斗、愛菜さんが「よい」と思った写真



【Bグループ】

丈一郎、万緒、咲久、明莉、莉月さんが「よい」と思った写真

選んだ理由は…

- 農家の方が、みんなに喜ばれるように、一つ一つ丁寧に米を育てているから。
- 山辺里には、田んぼがいっぱいあって、たくさんのお米がとれるから。
- 田んぼの景色がとてもきれいだから。
- とてもいいにおいがするから。
- 山辺里には、川があり、きれいな水があり、おいしいお米が作れる場所だから。

10年後にどうなっている…

- 田んぼが増えて、お米がもっととれるようになる。
- 田んぼからとったお米が、もっとおいしくなる。
- お米が、すごく人気になる。(たくさんの人から食べていただき喜んでいただける)
- お米を使った商品がふえる。

選んだ理由は…

- みんなで協力してお祭りの準備をしているから。
- 山辺里のみんなが集まって、お祭りを楽しんでいるから。
- 参加しているみんなが笑顔だから。
- 山辺里でしかやっていないイベントだから。
- 子どもだけでなく、お年よりも楽しめるから。
- 年に一度のお祭りだから。

10年後にどうなっている…

- 参加する人と屋台の数がふえる。
- みんなで考えを出し合うことで、お祭りの内容は、より楽しめるものになる。
- 山辺里のみんなが参加するお祭りとして、10年後も続いている。

Aグループの子どもたちは、山辺里には田園風景が欠かせないと話し合っていました。10年後の予想からは、農業の明るい未来を感じました。



3年担任

Bグループの子どもたちは、地域には、みんなが楽しめる場が必要だと話し合っていました。10年後、よりよいお祭りにするため、自分たちもアイデアを出したいという思いには、頼もしさも感じました。

授業に同席された、まちづくり協議会の大滝会長から、「総合的な学習では、子どもたちの斬新かつ、前向きな考えが多数あったので、地域の皆さんに紹介を続けていこう！」というお言葉をいただきました。

来月も山辺里小学校の3年生が「山辺里の元気！」をお届けしますので楽しみに！

さべり 地区の話題

山辺里地区初の紙相撲大会を開催 令和2年9月22日(火)

▼秋分の日9月22日(火)、村上農村環境改善センターの和室で山辺里地区初の紙相撲大会「#大好き♥さべり場所」(山辺里地区まちづくり協議会主催)が開催されました。大会には元力士の臥牛山さんも行司として駆けつけ大会を盛り上げてくれました。▼大会は1人2つの紙相撲力士を選びトーナメントで対戦。高さ約20cmの紙相撲を1m四方の土俵に置いて、思い思いに土俵を叩き勝負に熱中しました。楽しみながらも勝てばうれしく負ければ悔しい紙相撲。参加者は、優勝を目指し熱戦を繰り広げました。▼大会の様子は、10月25日の山辺里地区文化祭で上映しますので是非ご覧ください。



山辺里小学校大運動会に花を添える ～花いっぱい運動～ 令和2年9月26日(土)

▼まちづくり協議会かんきょう委員会では、創立10周年を迎える山辺里小学校の大運動会に花を添えるため、9月26日(土)、50を超えるプランターに花苗を植栽しました。▼作業には小学校PTA・児童や地域のボランティアの皆さんを始め70人もの方にご協力いただいたおかげで、30分程度で完了することができました。また、10月1日(木)に東中学校生徒の皆さんも植栽作業をしてくださいました。▼マリーゴールドやベゴニア、ケイトウなど6種類の花苗が植えられたプランターは、10月3日の運動会に、彩を添えることができました。▼ご協力いただいた皆様大変ありがとうございました。



健民少年団山辺里地区隊 小田隊長の活動報告

おいしかったよお弁当 ～弥彦山登山～

▼9月12日(土)に「弥彦山登山(634m)」活動を行いました。恒例となったこの活動ですが、昨年



と比べると比較的穏やかな気候での活動となり、途中で遅れてしまう団員もいましたが、指導員のサポートもあり約2時間で団員全員が無事に登頂することができました。▼天候に恵まれたため、山頂から望むふもとのまち並みや日本海はとても美しく、そんな景色を見ながら食べるお弁当は格別においしく団員の心に残ったと思います。▼下山はロープウェイを利用したのであつという間(約5分)にふもとへ着き、登山の汗を流しに弥彦温泉で入浴の後、帰路につきました。▼バスの中では大きな声を出さない、場面場面で手指消毒を行うなど新型コロナウイルス感染予防対策を行いながらの活動となりましたが、団員同士が気遣いや助け合いの心を持ち、全員でひとつの目標を達成することができた有意義な活動となりました。

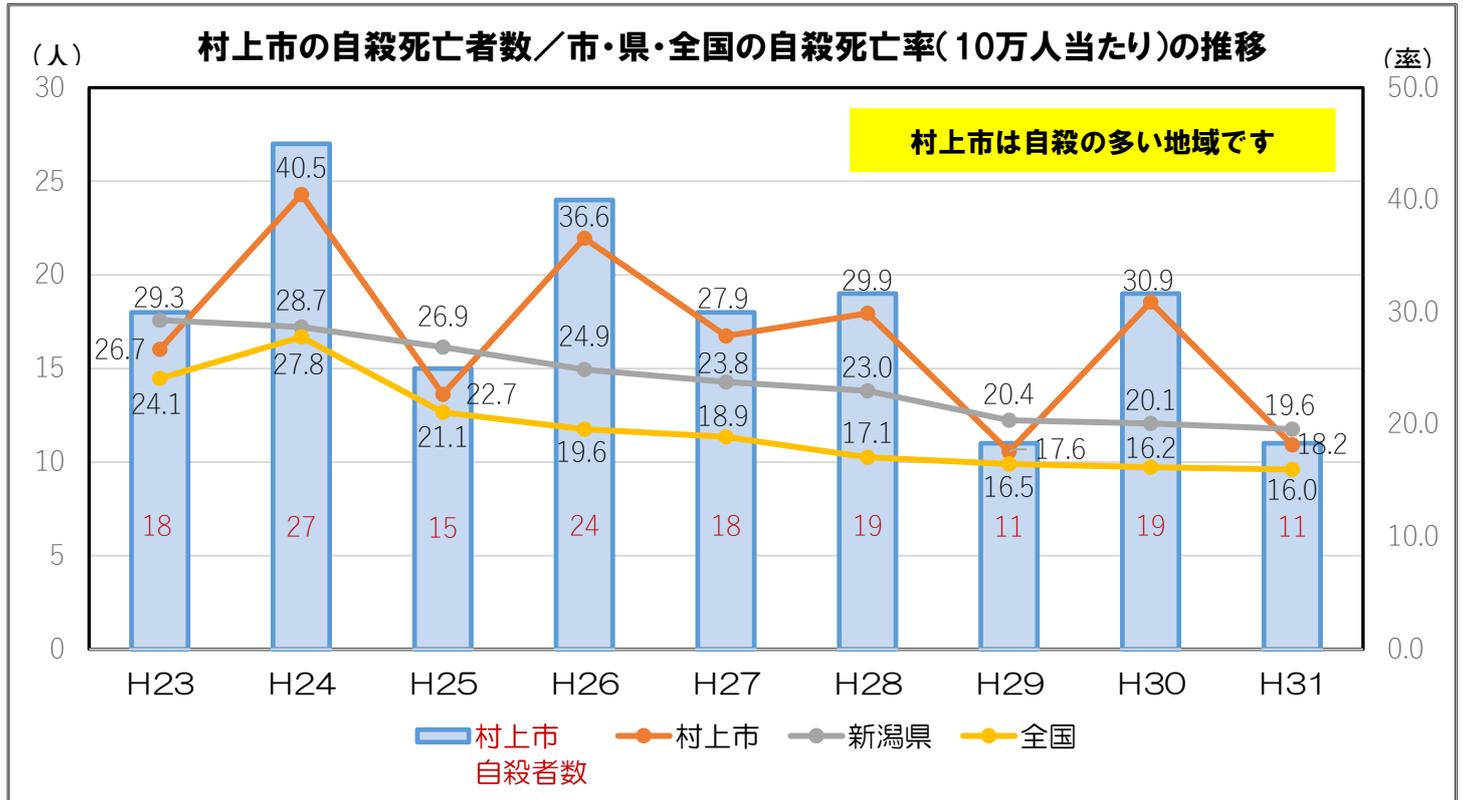


▼「村上市の自殺の現状」と「ゲートキーパー」▼

すっかり涼しい季節になりましたね。山辺里地区のみなさんはいかがお過ごしでしょうか。今月は「村上市の自殺の現状」と「ゲートキーパー」について紹介します。

本市の自殺死亡者数・自殺死亡率は、毎年増減を繰り返しながら推移しており、全国や県と比較すると自殺率が高い傾向にあります。平成31年は11の方が自殺で命を落とされています。

みなさんの周りの人が「いつもより元気がない・表情が暗い」等、「普段とちょっと違う」と気になったことはありませんか？その気づきはとても大切です。「ゲートキーパー」とは、悩んでいるひとに気づき、声をかけ、話を聴いて、必要な支援につなげ、見守るひとのことです。「命の門番」と言われています。



ゲートキーパー養成研修会のご案内

～心のSOSのサインに早期に気づき、適切な対応方法について学んでみませんか？～

- 《日時》 第1回 12月3日(木)13時～15時半
 講師：黒川病院 精神科認定看護師 花田政之氏

第2回 12月17日(木)13時～16時半
 講師：いのちとこころの支援センター 専門相談員 金谷光子氏
- 《会場》 クリエイト村上（村上市役所脇）
- 《申込》 11月24日(火)までに保健医療課健康支援室へお申し込みください⇒TEL：0254-53-3364



山辺里地区担当 菅原小熙（電話 53-2111 内線 2441）

地域おこし協力隊の元力士「臥牛山さん」が「くじ歩き」で山辺里の魅力を発信中！

臥牛山さんが山辺里20集落をくじ引きで集落を決めて、スマホ片手に歩きながら各集落の魅力を写真撮影し、Instagramやフェイスブックに投稿しています。これまで、上山田、大関、下相川、門前、天神岡、鋳物師、日下の7集落を「くじ歩き」しました。他の集落にもこれからおじゃましますのでよろしくお願ひします！

